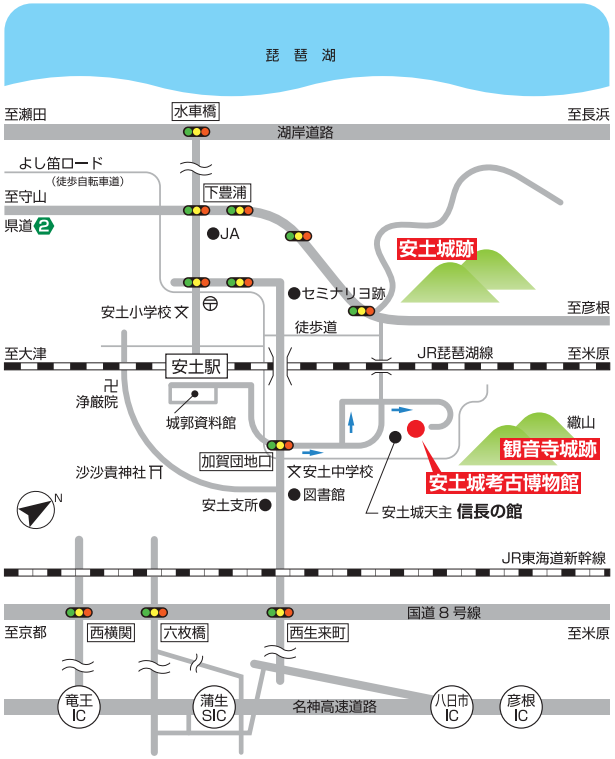
空から見た安土城跡

安土城跡の地形模型（滋賀県立安土城考古博物館）



【アクセス】
- JR琵琶湖線安土駅から徒歩25分
- JR安土駅前にレンタサイクルあり　駅から約10分
- JR安土駅前にタクシーあり　駅から約5分

【入山料等】
- 入山時間…午前9時から午後5時(季節によって変更あり)
- 入 山 料…大人 700円、小中学生 200円

発行：滋賀県ミュージアム活性化推進委員会

編集：滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678
Tel.0748-46-2424　Fax.0748-46-6140
e-mail：gakugei@azuchi-museum.or.jp
URL：http://www.azuchi-museum.or.jp/

平成29年度　文化庁　地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2017

特別史跡安土城跡

Azuchi Castle Ruins, A Special Historic Site

織田信長が天下統一の拠点として築いた城

The Castle that Oda Nobunaga Built as a Base for Unification of Japan

安土城跡出土金箔瓦（滋賀県教育委員会蔵）

滋賀県ミュージアム活性化推進委員会

滋賀県立安土城考古博物館

安土城の歴史

安土城は、織田信長（1534～1582）が天下統一の拠点とするために、天正4年（1576）に築城を始めた城です。築城にあたっては、当時の最高の技術を持った職人たちが動員されました。3年後の天正7年（1579）には最も中心的な建物である天主が完成して、信長が移り住みました。しかし、天正10年（1582）の信長の死後、天主・本丸は焼失してしまいました。そして、天正13年（1585）に信長の息子である織田信雄（のぶかつ）が豊臣秀吉に屈すると、織田氏が天下を支配する時代は終わり、安土城はその役目を終えて廃城となりました。その後、信長が安土城内に建てた摠見寺（そうけんじ）がその菩提を弔いながら、現在にいたるまで城跡を守り続けてきました。

発掘された焼失の痕跡（滋賀県教育委員会提供）

焼けた瓦や陶磁器（滋賀県教育委員会蔵）

安土城跡は昭和27年（1952）に特別史跡に指定され、文化財として保護されています。滋賀県教育委員会は、安土城跡を未来にわたって永く保存し、広く活用を図っていくために、平成元年度（1989）から平成20年度（2008）まで『特別史跡安土城跡調査整備事業』を実施しました。調査成果に基づいて、大手周辺から黒金門（くろがねもん）跡にいたる大手道と、道沿いにある曲輪（くるわ）群の整備や石垣・石段の復元などが行われました。

発掘された大手道跡（滋賀県教育委員会提供）

復元整備された大手道

安土城の構造

安土城はそれ以前の城郭とは異なり、戦闘を目的とした施設ではなく、政治支配に重点を置いた「見せる」要素が強い城郭でした。特に天主の豪華さは、そうした政治的アピールの強さの象徴です。

安土城で採用された、石垣の上にそびえ立つ高層の天主や瓦の使用といった要素は、それ以降の城郭に受け継がれていきます。この点から、安土城は日本における近世城郭建築の出発点と位置づけることができる城です。しかしながら、山麓部に見られる防御機能や、尾根筋に展開する郭群などの構造は、未だ戦乱の時代であった、この時代の様相を反映した構造です。安土城は中世から近世への移行期という時代を反映した城郭ということができます。

安土城天主「信長の館」の実物大復元天主（内藤昌氏復元監修）